

バイタリティ溢れる実践農業女子

浦部 莉奈（うらべ まりな）

所在地：南関町

就農時期：2024年6月

生産品目：アスパラガス、米

経営面積：アスパラガス 14a、米40a

国立工業高等専門学校で学び、民間企業に就職しましたが、祖父が営むハウスみかんと米の生産を手伝う中で、祖父の高齢化を実感するとともに、自らも農業に携わりたいという思いが高まり、就農を決意しました。従来のみかん栽培は、自身の体格や作業効率を踏まえると継続が難しいと判断し、軽量で扱いやすいアスパラガスのハウス栽培に取り組むこととしました。

JAたまなの新規就農研修を令和5年6月から1年間受講。現在は祖父のハウスみかんと米作りを手伝いながら、自らも米とアスパラガスの生産に取り組んでいます。



～こだわりポイント～

できることはなんでも挑戦

アスパラガスは一般的に平畝栽培が行われていますが、新規就農研修やアスパラガスサミットへの参加を契機に高畝栽培を導入し、排水性の向上と作業負荷の軽減を実現しました。また、周囲の反対もありましたが、ハウス内を3畝から2畝構成に減らすことで、採光性と作業効率の改善を図っています。さらに、新品種の導入にも取り組んでいます。

前職ではフォークリフト業務に従事し、大型特殊免許を取得しました。バックホーを用いた暗渠排水などの基盤整備や、ハウスおよび灌水設備についても、家族の協力を得ながら自ら施工しています。加えて、獣害対策として母とともにわな猟免許を取得しました。捕獲後の処理についても、バックホーを用いた埋設を予定しています。

さらに、ドローンの操縦資格を取得し機体を購入しました。今年の米から活用していく計画です。



今後の目標

- ・まずは、さらなる技術向上に努め収量を増加させたい！（熊本県の平均反収2トンを超える4～5トンを目指します）
- ・労働力や収支のバランスを十分に見極めながら、持続可能な規模拡大に積極的に取り組んでいきたい！！



竹の伐採も自分たちで



重機を操縦する莉奈さん



竹と竹チップで暗渠施工



2時間かけて毎日収穫します



選別機を使って選別作業



出荷先はJAや物産館など



家族と施工したアスパラハウス



購入したドローン



AI灌水施肥システム